



# 今回のテーマ 子育て支援

## 市長と語ろう！ タウンミーティング

市のまちづくりや行政課題などについて市民と語り合う「市長と語ろう！タウンミーティング」が、11月24日に市民ふれあいプラザで行われ、公募によって選ばれた子育てに携わる市民18人が、グループトークやディスカッションを通して市長と意見を交わしました。



▲津谷市長と意見を交わしたタウンミーティング

「市長と語ろう！タウンミーティング」は、市民に市政をより身近に感じてもらえるように、市民と市長が直接対話することを重視した意見交換会です。今回は「子育て支援」をテーマに、本市が取り組んでいる子育て施策に対し意見や提言などを聴き、今後のまちづくりに反映させるために行ったものです。開会にあたり、津谷市長は「今回のタウンミーティングはテーマをしっかりと、子育て支援に関して皆さんと意見を交わしたい。子育てに携わる皆さんには、市が進めている子育て施策の中で、この点はいいなとか、もっとこうしてほしいなど様々な意見をいただき、市の施策に反映させていきたい。市が行っている支援に



▲子育て支援について話し合う参加者

続いて、市職員が子育て支援に係る取り組みを説明したあと、参加者は5グループに分かれて市の子育て施策のよいところやよくないところ、改善策などをふせん紙に書き出して模造紙にまとめ、意見を発表しました。各グループの発表では、よいところとして「マル福制度や予防接種、妊婦健診などの助成は全国に誇れる」「室内の遊び場として、ねまーる広場やわんぱくが利用できるのは助かる」「スクールバスやタクシー、



▲各グループの発表で意見の共有

参加者から出された主な質問や意見とその回答は次のとおりです。  
▽…参加者 黒字…市長

ねまーる広場など気軽に遊びに行ける場所があつてありがたい。市内には自然型の施設はたくさんある。冬に屋内で体を動かす場所も必要になってくると思うが、管理の問題なども出てくるため、今後検討していく。

プライベートの問題や、怪我や事故など、何かあったときのことを考えるとよその人に預けるのは難しい。皆さんにわんぱくをうまく利用してもらえようような対策をしていく必要がある。今後の検討課題である。

所があるのかなど、細かい情報を得ることができると、もっと安心して出かけられるようになる。子育てに優しい市を目指すうえで、これからの公的な施設はおむつを換える場所や授乳する場所などが必要になっていくため、参考にさせていただきます。

### 市長と活発な意見交換

▽子育ての不安について、子育て支援センターの職員に相談できるのがあるが、子育てをしていての方が集まり、同じ悩みを共有したり、交流したりできるイベントや場所があり助かっている。

▽父親が育児休暇を取得できることで、母親や子どもも助かる部分が出てくる。父親への支援もしてほしい。市が率先して育児休暇を取得できる環境作りを進めていきたい。

▽新聞に掲載されている地域のイベント情報をもっと載せてほしい。また、市の子育て支援情報フェイスブックの内容を見ると、お知らせのチラシを添付しているだけになっている。受け取る側が理解できるように、内容を分かりやすく発信してほしい。

情報を初めて知る方もいて、チラシだけでは理解できない場合もあると思う。チラシのほかに説明を加えて掲載したほうが分かりやすい。フェイスブックだけの話ではなく情報発信全般に言えることなので、今後の参考にさせていただく。



▲意見を発表する参加者



▲参加者と意見交換する津谷市長

とてもいい考えであるため、実現できるようにしたい。イベントが重ならないようにしたり、活用してもらええる情報発信の方法についても今後検討していく。  
▽子どもが遊ぶ場として、北欧の杜公園やドリームワールド、室内では

▽わんぱくあくのキャンセル待ちが多く、急用で子どもを預けなければならぬときに困っている。父親が仕事でいない場合や近くに預けられる親族がいない方たちは苦労しているのでは。

▽市のイベントで、おむつを換える場所や授乳する場所、子どもにおやつやご飯を食べさせられるような場

